

悲愴

この掌に握りしめた土くれにこそ
おお、僕はくちづける
ここが舞台だ
死の舞踏の

逃亡に次ぐ逃亡の果て
辿り着いたところは
ここで死んでしまおう
眠ろう、ただ眠りたい・・・

愛した人々よ
どうか哀れんでください
感情に、生活に、そして幸福に
押しつぶされたこの僕を

ナイフを執り
足首をすいと切ると
少しずつ
にじみ出す^{いのち}生命

(さあ、踊ろう)

聞こえる
初めて聞いたあなたの声が
そして母の音が
ああ、単調な^{くらし}生活にも愛が必要だと
あなた方は教えてくれた

感じる
人々の哄笑に潜む孤独と怯えを
風に抗うと見えてすすり泣く心を
ああ、生とは無作為なもの
そして重く、愛しいもの！

ああ、僕の幸福は成就される

この舞踏によって
涙よ、とめどなく溢れ
流れきってしまえ
この生が終わる前に

(意識が薄れてゆく)

大地よ
僕がここに眠ることを許しておくれ
ここに土となることを
許しておくれ
許しておくれ

(1999.9.20)